

課題対応取組報告書

名称	加賀屋地域ランチ				
提出日	令和	7	年	6	月 9 日

カテゴリー (※主なものをひとつチェック)	☐ 地域や専門職とのつながり等	☐ 社会資源の創設（居場所づくり等）
	☐ 認知症高齢者等の支援	☐ 自立支援・介護予防・健康づくり等
	☒ その他（ 防災への取組 ）	
活動テーマ	③地域住民に向けた防災・減災への取組	
地域ケア会議から 見えてきた課題	・南海トラフ大地震の可能性。 ・全国各地域で压制している災害。 ・誰もが帰宅困難者、被災者になる可能性を持っている。	
対象	高齢者を中心とした地域住民や、その家族	
地域特性	昔ながらの長屋が並ぶ地域や高層マンション、集合住宅群が点在する地域である。北側の地域は旧造船の町として栄えた時代があり、単身者が仕事を求め集まっていた。単身者用アパートが残っており、高齢化、経済的困窮、社会的生活の継続が困難な方等が多く住む。町会未加入世帯や、脱会地域もあり、住民同士のつながりの濃淡差がある。	
活動目標	住民自ら防災、減災の意識を持つ。常に備える意識をもつ。	
活動内容 (具体的取組)	・地域の集いの場で、防災グッズの整備のアナウンスや、チラシを作製した。 ・災害時に必要な備品の実演。 ・実際に手にして扱い方を体験した。 ・地域関係者と協働し、地域の防災訓練に参加、避難救護活動訓練を実施した。	
成果 (根拠となる資料等が あれば添付すること)	・ご夫婦が、災害時持ち出し非常ボトルを自分で作る取組をしてくれた。 ・実際に簡易トイレの砂を使い、どの程度の量で固まらせることができるか、自宅トイレでの使用方法など、イメージを持つことができた。	
今後の課題	・災害発生時の動き方、自宅避難の際に必要な備品、安否確認の方法など、まだまだたくさんの確認すべきことがあり、今後も住民と共に備えの意識を持ち、準備していく必要がある。	
※以下は、区運営協議会事務局にて記入		
区地域包括支援センター 運営協議会開催日	令和7年7月24日（木）	
専門性等の該当 (※該当個数は問わない)	☒ 地域性 ☐ 継続性 ☒ 浸透性・拡張性 ☐ 専門性 ☒ 独自性	
評価できる項目（特性） についてのコメント * 今後の取組継続に向けて、区地域包括支援センター運営協議会からの意見等を記載。	・委員としても体験してみたい。 ・区としては、危機管理担当保健師や防災担当の活動がある。高齢だけでなく難病・母子も含めて人工呼吸器や酸素療法利用者のチェックを行い電源確保等している。 ・被災時歯を磨けないと、誤嚥性肺炎等のリスクがある。口腔ケアが大事である。 ・海外出身者や障がい言葉が通じにくい人を、どう支援するかも考えてほしい。 ・避難行動要支援者の個別避難計画が作成された後、どう扱われているのか気になる。	